

第46回運輸政策セミナー

我が国における最近のクルーズ
振興策について
ークルーズ新時代に向けてー

平成26年1月28日

国土交通省海事局外航課

国際海上輸送企画官 角 昌佳



クルーズ産業の経済波及効果

直接的効果

- クルーズ客、乗組員からの支出
 - 交通費(居住地～乗下船地)
- クルーズ会社からの支出
 - 港での支出
 - 船舶代理店業務費、ランドツアー経費
 - 着岸料、岸壁使用料
 - クルーズ船に係る支出
 - 飲食費、燃料費、船用機器・通信機器費用、船舶修繕費
 - 会社経営に係る支出
 - マーケティング、広告宣伝費、一般管理費

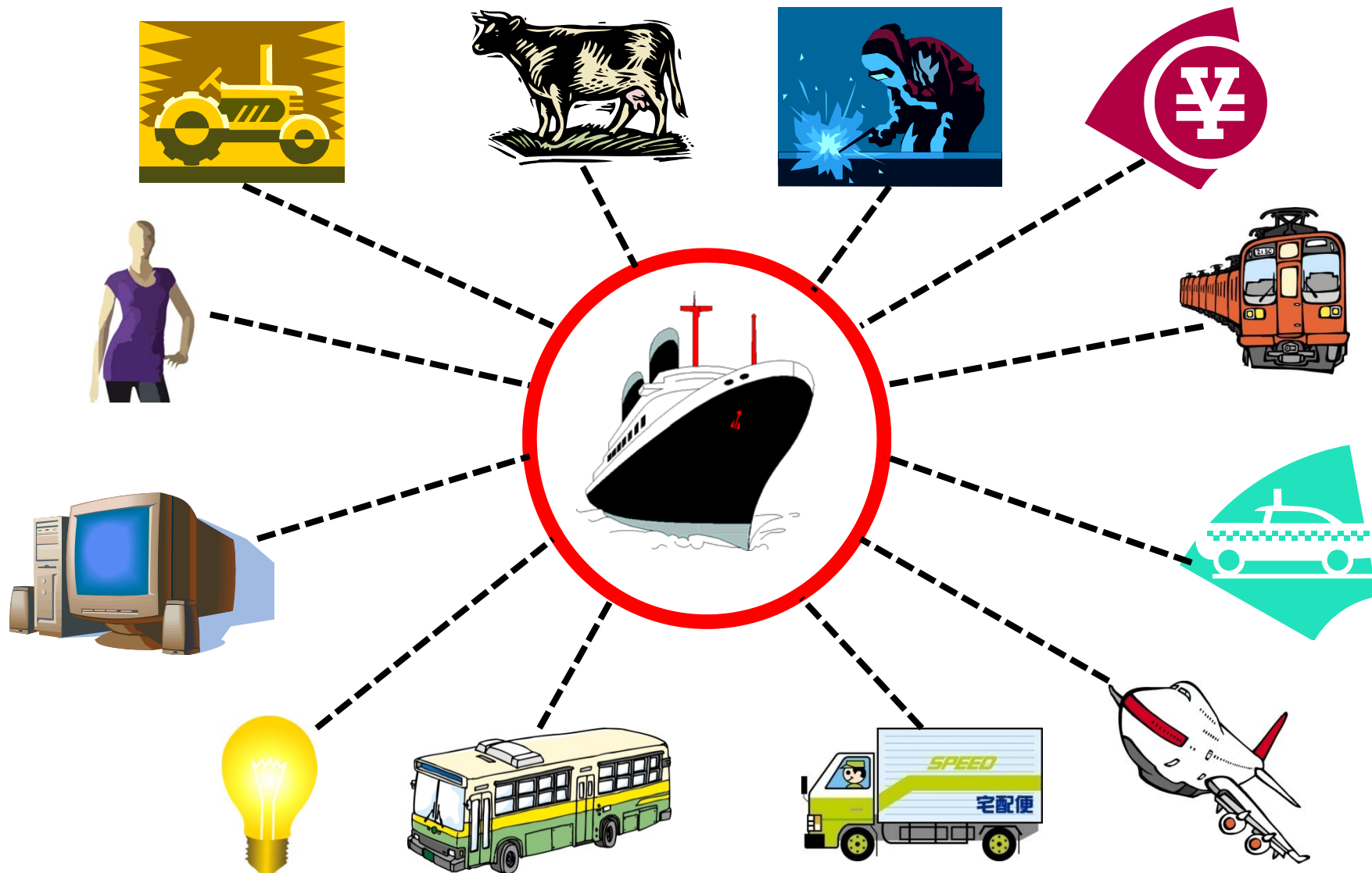


クルーズ産業の経済波及効果

間接的波及効果

- 交通費：鉄道、航空、バス、タクシーの旅客運送業
- 飲食費：
 - 農業、畜産業、食品加工、飲料製造業、食品加工機器製造業、貨物輸送業、電気事業、プラスチック製造業等
- 燃料費：石油精製業、貨物運送業等
- 舶用機器・通信機器費用：
 - コンピュータ製造業、精密機器製造業
- 船舶修繕費：造船業、塗装材料製造業、鉄鋼業等
- マーケティング、広告宣伝費、一般管理費：
 - 金融業、保険業、アパレル製造業、不動産賃貸業、電気・ガス・水道業

クルーズ産業の経済波及効果





クルーズ産業の経済波及効果(2010年 北米の事例)

クルーズ利用客 970万人

直接波及効果

■ クルーズ産業による支出	180億ドル(1兆8000億円)
■ 雇用	14万人
■ 給与・賃金	58億ドル(5800億円)

総波及効果

■ 総支出額	379億ドル(3兆7900億円)
■ 雇用	33万人
■ 給与・賃金	152億ドル(1兆5200億円)

出展: "The Contribution of the North American Cruise Industry
to the U.S. Economy in 2010", CLIA

3大クルーズ会社グループ

ロイヤルカリビアン

	隻数	定員
ロイヤルカリビアン	22	62,000
セブリティクルーズ	11	24,800
アザマラクラブ	2	1,400
ブルマントゥール	3	5,300
CDF	1	1,350
TLUクルーズ	2	3,800
合計	41	98,650

カーニバル・コーポレーション

	隻数	定員
カーニバルクルーズ	24	61,964
プリンセスクルーズ	16	36,900
ホランドアメリカ	15	23,492
シーホーン	6	1,974
キューナード	3	6,670
アイーダクルーズ	9	16,442
コスタクルーズ	14	31,714
イベロクルーズ	3	4,176
P&Oクルーズ(英)	7	14,610
P&Oクルーズ(豪)	3	4,780
合計	100	202,722

スタークルーズ

	隻数	定員
スタークルーズ	6	9,724
ノルウェジャンクルーズ	12	30,351
合計	18	40,075

主な独立系クルーズ会社



	隻数
・アメリカン・クルーズ・ライン	6
・アン・クルーズ	8
・ディズニー・クルーズ	4
・オセアニア・クルーズ	5
・ポール・ゴーギャン	2
・リージェント・セブンシーズ	3
・シルバーシー	8
・ウインド・スター	4



	隻数
・トランスオーシャン	5
・ハバックロイ	5
・フェニックス・ライゼン	3



	隻数
・トムソン・クルーズ	5
・フレッド・オルセン	4
・サガ・クルーズ	4



	隻数
・日本郵船G	3
・商船三井客船	1
・日本クルーズ客船	1



	隻数
・MSCクルーズ	12



	隻数
・ボナン・クルーズ	4



日本のクルーズ産業の歴史

- 平成元年がクルーズ元年（ふじ丸就航）
- かつては多くのクルーズ船が日本にあった
 - おせあにつくぐれいす
 - ソング・オブ・フラワー
 - 新さくら丸
 - おりえんとびいなす
 - ふじ丸
 - 飛鳥
- 現在は3隻
 - 飛鳥Ⅱ
 - にっぽん丸
 - ぱしふいっくびいなす

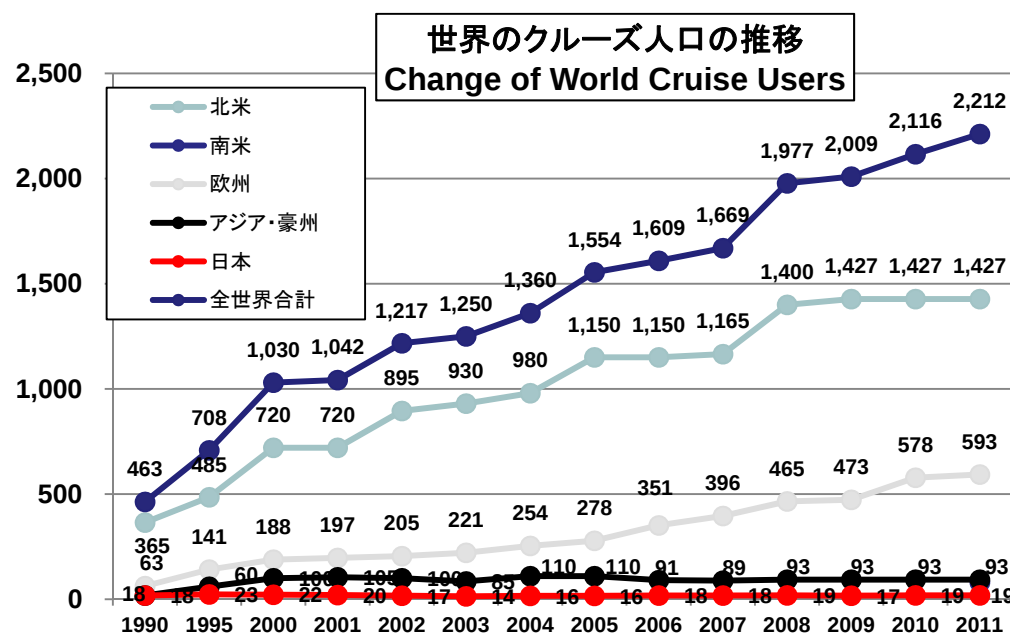
世界のクルーズと我が国との比較

日本 Japan

1. 不定期 Seasonal
2. 短期～長期 Long cruise
3. シルバー層 Elder
4. ラグジュアリー中心 Luxury

米国 U.S

1. 定期 Regular
2. 短期 Short cruise
3. ファミリー層 Family
4. カジュアル中心 Casual



Note: Data cited from "Cruising & cruise ships 2013" by DOUGLAS WARD
except data in Japan by Maritime Bureau, MLIT

世界のクルーズマーケットのイメージ Image of the world cruise market

ラグジュアリー(ブティック※含む)

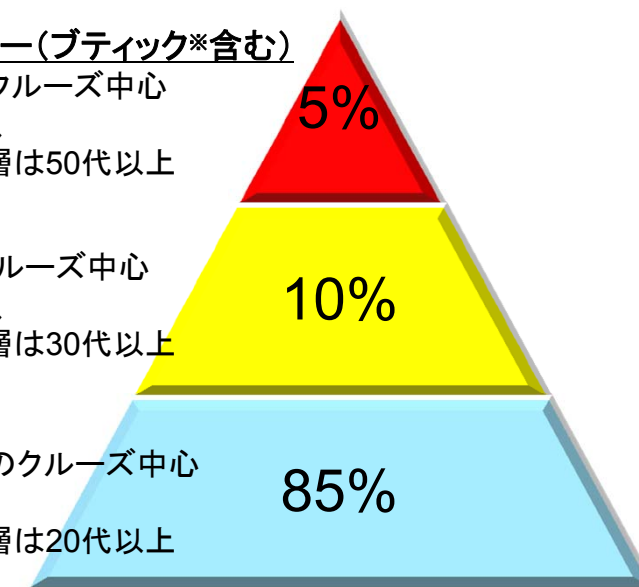
10泊以上のクルーズ中心
1泊:\$400～、
乗客の年齢層は50代以上

プレミアム

7泊以上のクルーズ中心
1泊:\$200～、
乗客の年齢層は30代以上

カジュアル

3～7泊以上のクルーズ中心
1泊:\$70～、
乗客の年齢層は20代以上



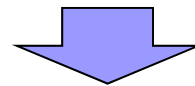
我が国と各国のクルーズ人口比較(2012年)

	クルーズ人口(万人)	人口(万人)	100人当たり(人)	日本=1
米国・カナダ	1, 170	31, 879	3. 76	21. 3
英国	170	6, 324	2. 69	15. 6
ドイツ	154	8, 193	1. 88	10. 9
スペイン	58	4, 616	1. 26	7. 3
イタリア	84	6, 085	1. 38	8. 0
フランス	48	6, 356	0. 76	4. 4
豪州	74	2, 268	3. 26	18. 9
日本	22	12, 756	0. 17	1. 0

出典: Complete Guide to Cruising & Cruise Ships by Douglas Ward、国土交通省海事局調べ
UN 2012 Demographic Yearbook

注目を集めるアジアのクルーズ・マーケット

- 北米中心に年率7.2%で市場拡大
- カリブ海における競争激化
 - クルーズ船の大型化
 - 中型クルーズ船のドロップアウト
- カリブ海からドロップアウトした中型クルーズ船の新たな配船先の模索
- アジア諸国の経済発展
 - 賃金上昇、可処分所得の増大
 - 中間層、富裕層の増大
 - アジアにおける潜在的クルーズ需要の増大
- アジア配船の実現
 - プリンセス・クルーズ
 - ロイヤル・カリビアン・インターナショナル
 - コスタ・クルーズ



クルーズ振興の新たなチャンス



クルーズ振興と行政の役割

■ クルーズ振興施策の位置づけの明確化

- 観光政策、経済活性化政策としてのクルーズ振興
- 「民間の営業努力」から「行政の積極関与」
- 海洋基本計画
- 観光立国アクションプラン
- 国境離島の保全、管理及び振興のあり方に関する有識者懇談会中間提言

■ クルーズ振興に対する行政の役割

- 民間との協力、連携、役割分担
- クルーズ・ターミナル、客船バースの整備（行政主導）
- 客船誘致（行政、民間連携）



「海洋基本計画」(平成25年4月閣議決定)

■ 海洋産業の健全な発展

- クルーズ、マリンレジャーなど、観光資源や憩いの場としての海洋を活用した観光産業の振興、発展を促す海洋観光等の取組を推進する。

■ 新たな海洋産業の創出 エ 海洋観光の振興 ②アジアからの訪日旅行の推進

- ○外航クルーズの普及・振興を目的に、関係者と協力・連携した外国人旅行者数の拡大のための訪日プロモーションを促進し、これに伴い、訪日外国人旅行者の出入国審査について、厳格化を維持しつつも、その円滑化・迅速化の推進に努める。
- ○アジア諸国からの訪日旅行者の更なる増加に向け、我が国の観光の玄関口となる旅客船ターミナルや、荒天時にも大型旅客船等の安定的な入港を可能とする防波堤等を整備するなど、外航クルーズ船の日本寄港促進のための環境整備を推進し、観光立国の実現を目指す。

「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」

■ 2. ビザ要件の緩和等による訪日旅行の促進

(3) クルーズの振興

- 海外のクルーズ船社が我が国港湾への寄港を検討するに当たり、一元的窓口がない、あるいは各種情報が不足しているとの声があることから、関係者の間で連携を図り、外国クルーズ船社に対応するワンストップ窓口を6月に国土交通省に開設したところであり、今後、諸外国のクルーズ船社に周知し、クルーズ船の寄港を促進する。
- クルーズ船の寄港増やクルーズ船の大型化に対応した旅客船ターミナルの整備等、引き続き必要なハード面の機能確保を図る。
- 外国から日本への就航を促進するだけでなく、日本周辺でのフライ・アンド・クルーズの外国人旅行者の利用を促進する。



クルーズ振興の方向性 1

■ 国際レベル

□ 近隣諸国との連携

- 「クルーズ・シンポジウムin沖縄」(2013年12月)
- 「日韓クルーズ・定期旅客船活性化フォーラム」
(2013年12月)

□ ASEAN諸国との連携

- ASEAN・日本クルーズ振興専門家会合
(2004年12月、2006年2月、2014年2月(予定))

□ APEC加盟国との連携

- 交通ワーキンググループMEG(港湾・海事専門家会合)

□ マイアミ・クルーズ・コンベンションへの参加

□ オール・アジア・クルーズ・コンベンションへの参加

マイアミ・クルーズ・コンベンションへの参加





クルーズ振興の方向性 2

■ 全国レベル

- 全国クルーズ活性化会議会
- ワンストップ窓口の設置(寄港地情報の一元的提供)
- クルーズ・アドバイザー資格認定制度
 - クルーズ旅行販売のスペシャリスト育成が目的
 - 2003年に制度創設
 - クルーズ・マスター48名、クルーズ・コンサルタント4768名
(2013年度合格者までの累計)
- クルーズ・オブ・ザ・イヤー
 - 良質のクルーズ商品の開発、サービスの提供に対する表彰制度
 - 2008年に創設
- クルーズの旅が当たるクルーズ・キャンペーン

全国クルーズ活性化会議への活動支援

- 全国の港湾管理者や地方自治体の首長等が参加する「全国クルーズ活性化会議」※の設立（2012年11月）を支援（2013年9月17日現在、99団体が参加）し、オブザーバーとして参加。（オブザーバー：港湾局、海事局、観光庁等）

会員（99団体（2013.9.17現在）） ※設立時79団体

- 【北海道(13)】 室蘭市、苫小牧港管理組合、稚内市、函館市、小樽市、釧路市、留萌市、広尾町、網走市、根室市、利尻富士町、礼文町、利尻町
- 【東北(15)】 青森県、岩手県、宮城県、石巻市、秋田県、山形県、福島県、宮古市、大船渡市、久慈市、秋田市、能代市、男鹿市、酒田市、青森市
- 【関東(5)】 茨城県、千葉県、東京都、横浜市、大洗町
- 【北陸(8)】 新潟県、新潟市、富山県、石川県、福井県、敦賀市、高岡市、輪島市
- 【中部(6)】 静岡県、静岡市、愛知県、名古屋港管理組合、三重県、四日市港管理組合
- 【近畿(7)】 京都府、舞鶴市、大阪市、兵庫県、神戸市、姫路市、和歌山県
- 【中国(15)】 鳥取県、鳥取市、境港管理組合、境港市、島根県、松江市、岡山県、広島県、広島市、呉市、山口県、下関市、玉野市、福山市、浜田市
- 【四国(10)】 徳島県、香川県、坂出市、愛媛県、松山市、今治市、宇和島市、高知県、新居浜港務局、小松島市
- 【九州(16)】 福岡県、北九州市、福岡市、佐賀県、長崎県、佐世保市、熊本県、大分県、宮崎県、宮崎市、日南市、日向市、鹿児島県、唐津市、伊万里市、八代市
- 【沖縄(4)】 沖縄県、那覇港管理組合、宮古島市、石垣市

オブザーバー 国土交通省港湾局、海事局、観光庁、国土政策局、日本旅行業協会（JATA）、全国旅行業協会（ANTA）、日本外航客船協会（JOPA）

今後の取り組み

- ・引き続き、全国クルーズ活性化会議・同幹事会等の場を活用し、クルーズ振興や誘致に係る必要な情報の共有や意見交換を行いつつ、課題の解決を図る。

2013年度における国への要望項目

「我が国における客船クルーズの振興に向けた要望書（2013年7月29日）」

1. クルーズ関連港湾施設の整備と受入設備の充実に対する戦略的・重点的な予算の確保
2. C I Q手続きの柔軟化及びさらなる迅速化
3. クルーズ関連港湾施設の整備の推進
 - （1）旅客船岸壁等の整備の推進
 - （2）クルーズ・ターミナルビルの整備への支援
4. 海外へのクルーズプロモーションに対する支援

「全国クルーズ活性化会議」第2回総会

（2013.7.29）



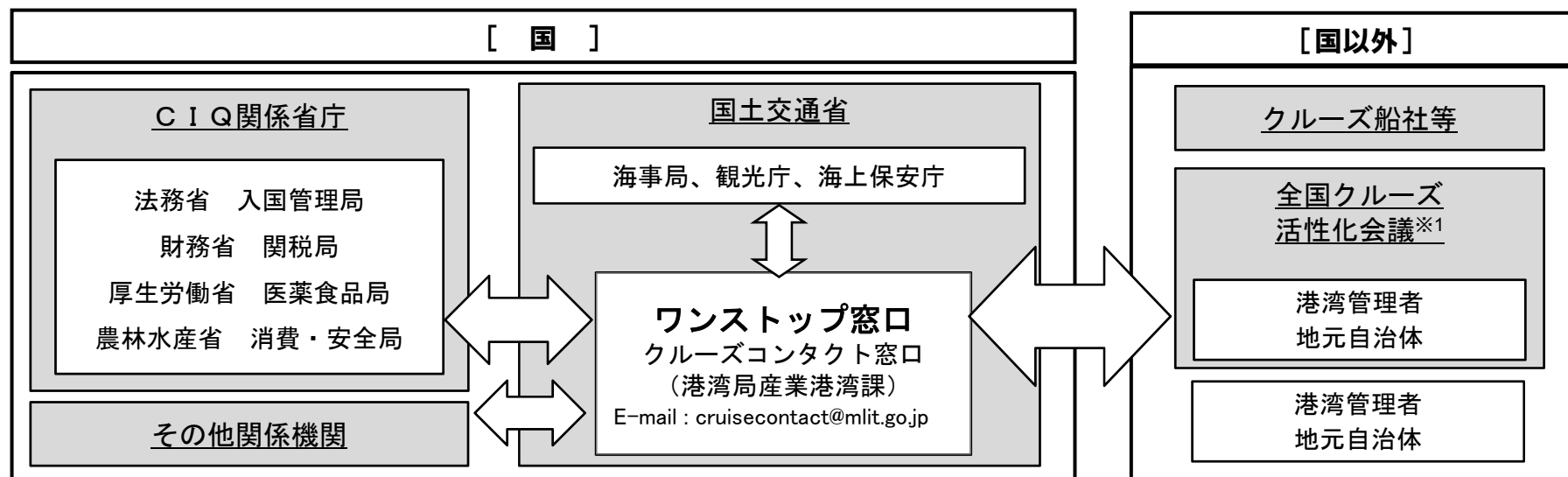
梶山国土交通副大臣（当時）への要望書の提出 矢田神戸市長による意見発表

クルーズの振興のためのワンストップ窓口の設置

- 外国のクルーズ船社が我が国港湾への寄港を検討するに当たり、我が国の一元的窓口がない、あるいは寄港地の情報が不足しているとの声があることから、関係者の間で連携を図り、外国クルーズ船社に対応するワンストップ窓口を2013年6月に港湾局内に開設。

外国クルーズ船社に対応するワンストップ窓口

外国のクルーズ船社等からの問い合わせに対し、港湾局に設置したワンストップ窓口が関係行政機関との情報共有・連携を図り、適宜、窓口または関係行政機関から回答を行う。



※1 クルーズの振興を通じて、地域振興等に資することを目的とした団体（全国の港湾管理者等99団体が参加）

今後の取り組み

「ワンストップ窓口（クルーズコンタクト窓口）」の周知

・日本再興戦略（2013.6）でも言及された、外国クルーズ船社に対応する「ワンストップ窓口」の周知等を進める等して、外国クルーズ船社等の利便の向上を図る。（なお、H25.9月末には観光庁と連携し、クルーズ見本市「シートレード・ヨーロッパ」（ハンブルク）において、「ワンストップ窓口」の資料配付を実施済み。）



クルーズ振興の方向性 3

■ 地方レベル

□ クルーズ振興地方協議会

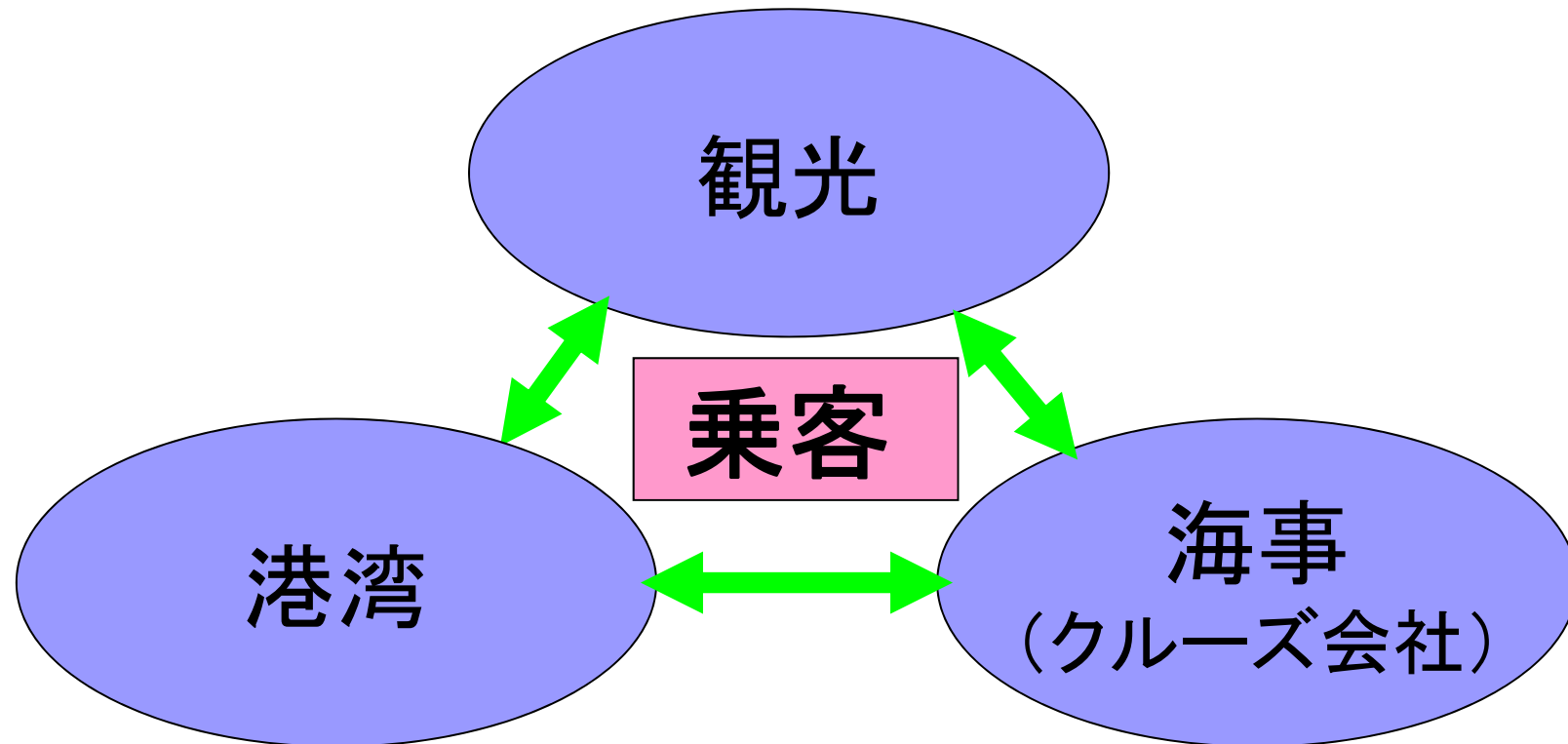
- 北海道、関西、中国、九州、沖縄で設立済み
- 他地域での設立を支援

□ クルーズ船見学会、市民クルーズの実施

□ クルーズ・セミナーの実施

クルーズ振興のための基本的方策

■クルーズは複合産業

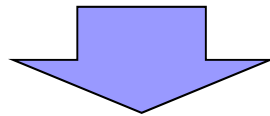


■クルーズ船は線移動

港の連携が重要

クルーズに対する間違ったイメージ

- 豪華客船＝金持ちのみのレジャー？
- 退屈な旅＝船内ではやることがない？
- 船酔いが心配
- 食事代は別料金？
- タキシードやドレスが必要？



間違ったイメージの払拭が必要



外国のクルーズ船と日本のクルーズ船の違い

■ 外国のクルーズ船

- 日本に居ながら外国が楽しめる
- 大型船が中心

■ 日本のクルーズ船

- 和食、展望風呂、日本語、ノーチップ制
- 外国に居ながら、いつでも日本に戻れる安心感
- 動く日本
- 中型船～地方寄港地の多様性



クルーズ振興のための具体的な方策

■ 海外のクルーズ誘致団体の成功事例

- クルーズ・ダウンアンダー (Cruise Down Under)
- デスティネーション・サウスウエスト・イングランド
(Destination Southwest England)
- 人口17万の港町、フォートローダデールの成功事例

■ クルーズ船社、乗客は何を期待しているのか？

海外の成功事例 1

クルーズ・ダウン・アンダー

■ 沿革

- オーストラリアのクルーズ誘致団体として発足
- ニュージーランド、インドネシア等も参加

■ 活動

- 港湾、観光情報の提供
- 港のオンライン・ブッキング
- 運航スケジュール作成支援
- セールス活動



ホーム・ページの活用

(1) 港のオンライン・ブッキング

From: 30 / Sep / 2005
To: 3 / Oct / 2006
Port: Brisbane
Ship: Pacific Venus
Search

(2) 航海情報の提供

DEFAULTS
00 kts CLEAR ALL

LEG 1
From: Cairns To: Brisbane 18 kts dist 00841 nm
01d22h43m

LEG 2
From: Brisbane To: Sydney 20 kts dist 00527 nm
01d02h21m

LEG 3
From: Sydney To: Melbourne 20 kts dist 00601 nm
01d06h03m

LEG 4
From: Melbourne To: Adelaide 20 kts dist 00506 nm
01d01h18m

LEG 5
From: Adelaide To: Fremantle 20 kts dist 01348 nm
02d19h24m

LEG 6
From: Fremantle To: Broome 20 kts dist 01214 nm
02d12h42m

LEG 7
From: Broome To: (select a port) dist 00000 nm

TOTALS
dist 05037 nm 010d16h31m

クルーズ・ダウンアンダー キーパーソン



マイク・バートレット氏
Mr. Mike Bartlett



ジル・アベル氏
Ms. Jill Abel



リチャード・ドイル氏
Mr. Richard Doyle

www.cruisedownunder.com

海外の成功事例 2

Destination Southwest
England

www.destination southwest.co.uk



Douglas Ward & Robert Harrison

デスティネーション・サウスウエスト・イングランド (Destination Southwest England)

www.destination southwest.co.uk

- キャッチフレーズは
PartnerSHIP
- 8 港湾が参加
- 観光部局も参加
- 観光地やアトラクションを紹介
- 会員数は21



※2004年12月のプレゼン資料より

デスティネーション・サウスウエスト・イングランド (Destination Southwest England)

- 2001年 = 10 隻寄港
- 2002年 = 50 隻寄港
- 2003年 = 70 隻寄港
- 2004年 = 106 隻寄港
- 2004は、このうち21隻が発着港として寄港



Destination Southwest England

どうして、短期間に寄港数を急増できたのか？ How did the project achieve tremendous results so quickly?

- 質の高いウェブサイト

A quality website, Rated by the industry as highly informative

- クルーズ業界とその要求を知ること

Knowing the cruise industry and its requirements

- クルーズ関係者へのマーケティング

Marketing to established contacts

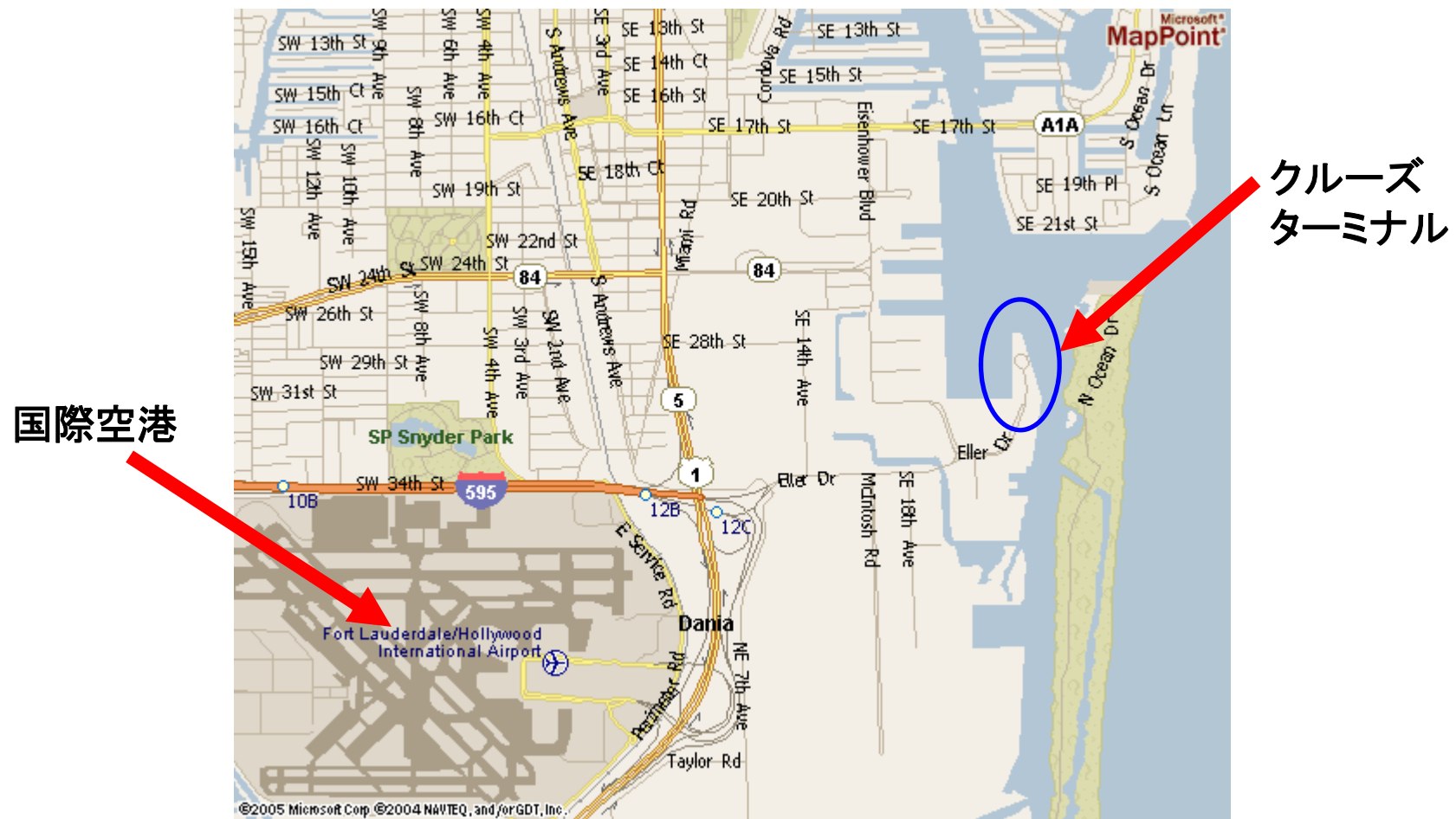
- クルーズ関連会議への出席 Attending Conventions



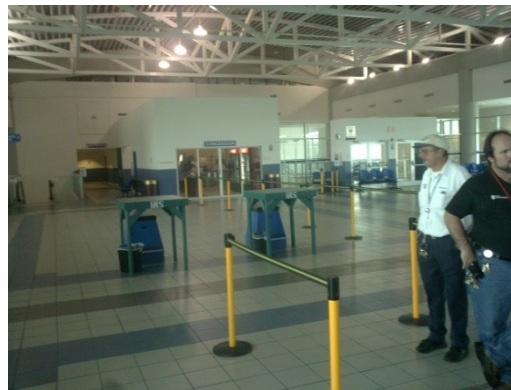
フォートローダーデール(フロリダ州)の取り組み

航空業界との連携

マイアミと並ぶ有数の発着港に成長



フォートローダーデル





クルーズ会社・乗船客は何を期待しているのか？

■ クルーズ会社のキーパーソンは誰か？

- 寄港地選定責任者はごく少数

■ クルーズ会社の特徴は？

- ラグジュアリーとカジュアルでは会社の経営戦略、客層が異なる

■ 乗船客は何を求めているのか？

- 国により嗜好は異なる。
 - 食べ物（味、量、ハラル料理）
 - お土産（地名入りTシャツ、キャップ、コップ）
- 港での歓迎行事は重複しないか。

寄港地選定責任者

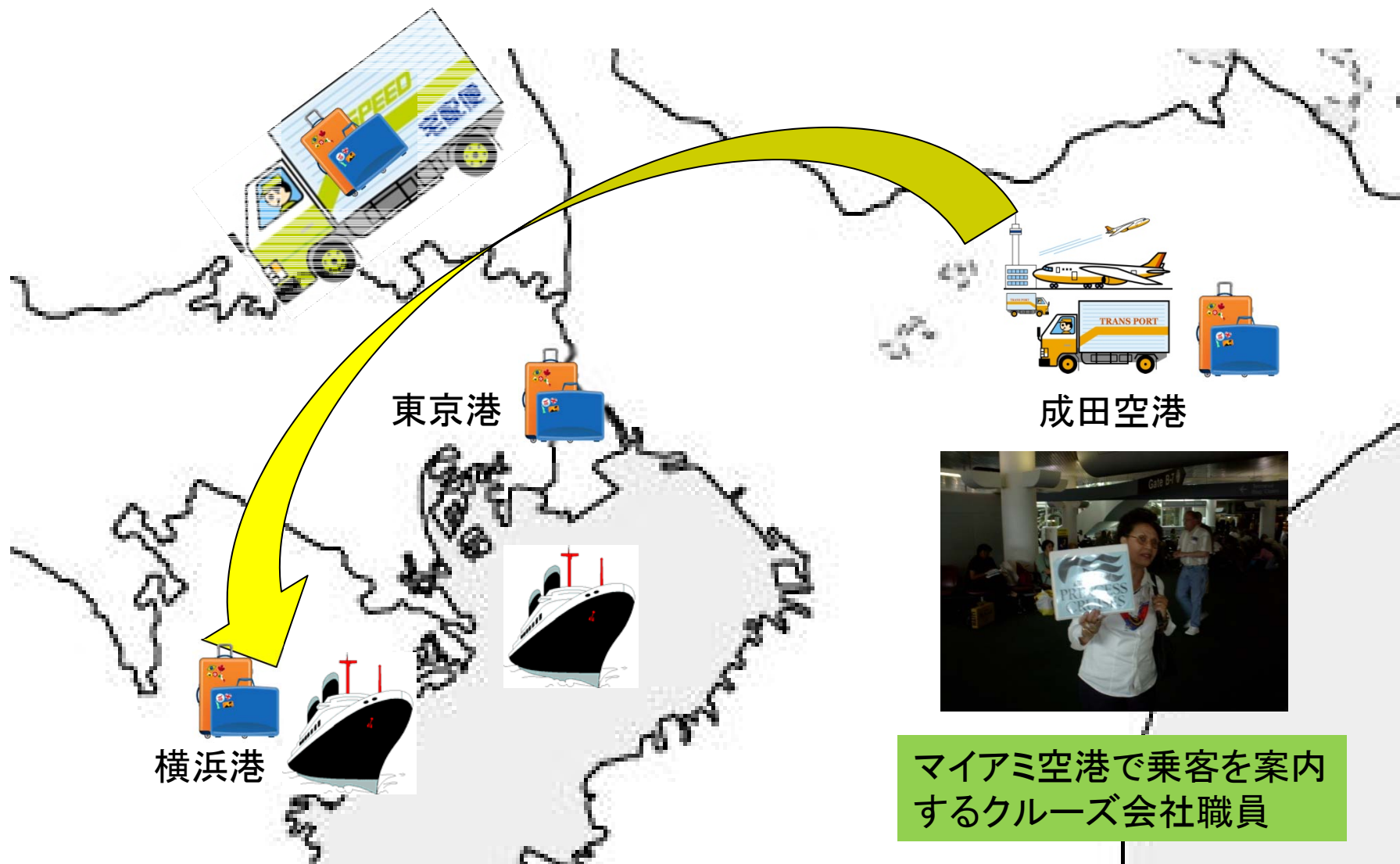


ディートマー・ワータンジル氏
(Mr. Dietmar Wertanzl)
(クリスタル・クルーズ社から
ロイヤル・カリビアン社に移籍)

ピーター・コックス氏 (Mr. Peter Cox)
(キューナード社からシーボーン・クルーズに移籍)



フライ・アンド・クルーズの可能性(宅配便の活用)



レール・アンド・クルーズの可能性

国内港 小樽・函館・青森・秋田・酒田・新潟・伏木富山・七尾・金沢
京都舞鶴・境港・浜田・博多・長崎

海外港 ワニノ・コルサコフ・ナホトカ・ウラジオストック・ザルビノ
束草・釜山・麗水・済州島

中心拠点港 伏木富山港・金沢港

モデルコース(例)

小樽 — 利尻 — サハリン — 小樽

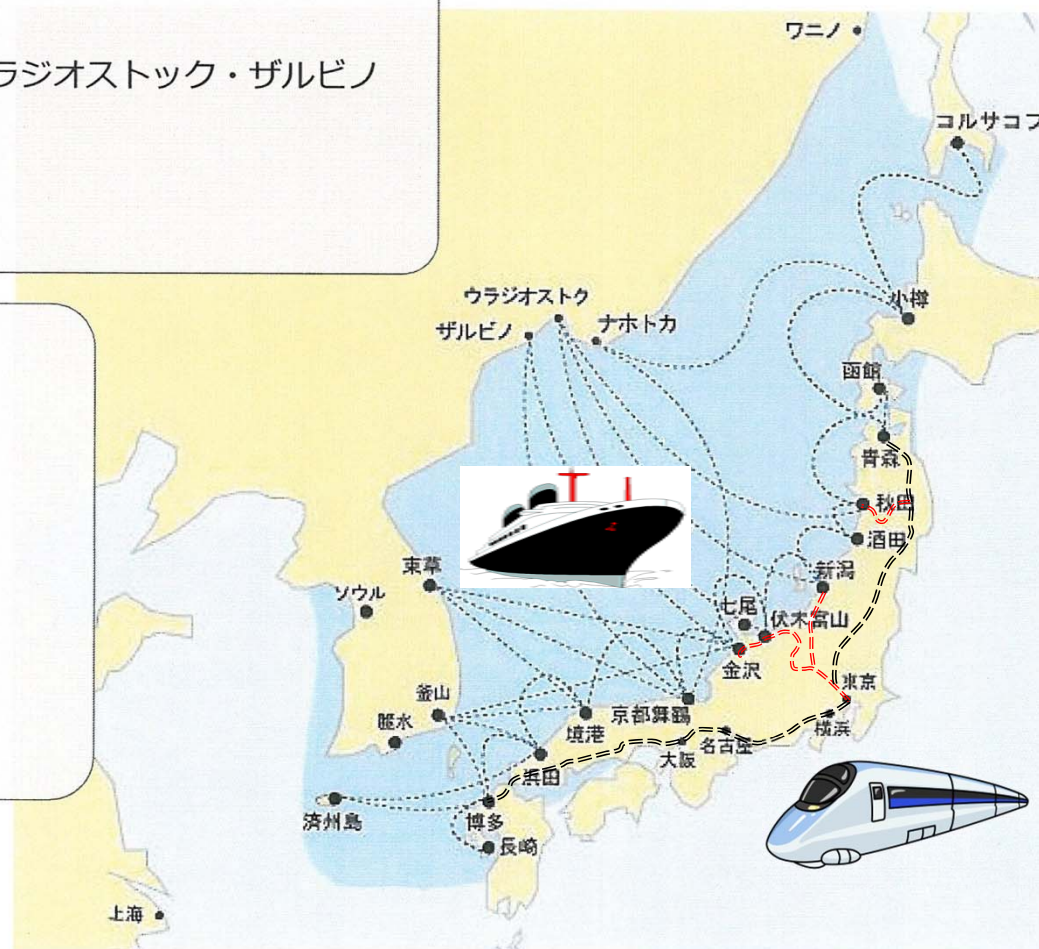
函館 — ウラジオストック — 束草 — 函館

青森 — ナホトカ — 青森

伏木富山 — 佐渡 — ザルビノ — 伏木富山

金沢 — 輪島 — ウラジオストック — 金沢

京都舞鶴 — 萩 — 釜山 — 京都舞鶴



(イメージ)

クルーズの振興の課題

クルーズ客船誘致のキーパーソン(誘致側)

■ クルーズ・ダウンアンダー



ジル・アベル氏
Ms. Jill Abel

■ デスティネーション・サウス・ウエスト・イングランド



ロバート・ハリソン氏
Mr. Robert Harrison

■ 日本



?



クルーズ客船誘致の専門家育成と誘致団体の機能強化

■ クルーズ客船誘致の専門家に求められるもの

- クルーズに関する知識(クルーズ船、寄港地、観光地、規制等)
- 英語でのコミュニケーション能力
- 幅広い人的ネットワーク
- 長期間(10年以上)、業務に専念できる仕事環境

■ クルーズ客船誘致のための団体に求められるもの

- 情報の発信
- 各種問い合わせへの対応
- クルーズ船社への売り込み
- モデル・クルーズ・コースの提案



中国、韓国に比べ遅れる日本の対応

マイアミ・クルーズ・コンベンションへの参加

- 日本 2004年～
- 中国 2005年～
- 韓国 日中に遅れて参加

オール・アジア・クルーズ・コンベンション(AACV)

- 中国は、2008年、2010年、2012年の3回、上海、蘇州で開催
- 韓国は、2014年に開催予定
- シンガポールは、2005年にクルーズ・ガーデン・パーティーを開催
- 日本は、2006年に横浜、2011年に福岡で「ジャパン・クルーズ・シンポジウム」を開催



まとめ

- 国内関係者間での連携の強化
- マイアミ・クルーズ・コンベンションへの継続参加
- オール・アジア・クルーズ・コンベンションの誘致
- クルーズ船誘致の専門家育成
- クルーズ誘致団体の機能強化
 - 全国クルーズ活性化会議
 - クルーズ振興地方協議会、その他
- 日本主導による「クルーズ・イースト・アジア」(国際的クルーズ誘致団体:仮称)の設立